

1.調査目的等

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2.学校ごとの指標

【短期指標】

全国学力・学習状況調査における標準化得点を国語100以上、数学90以上(本校平均正答数/全国平均正答数)

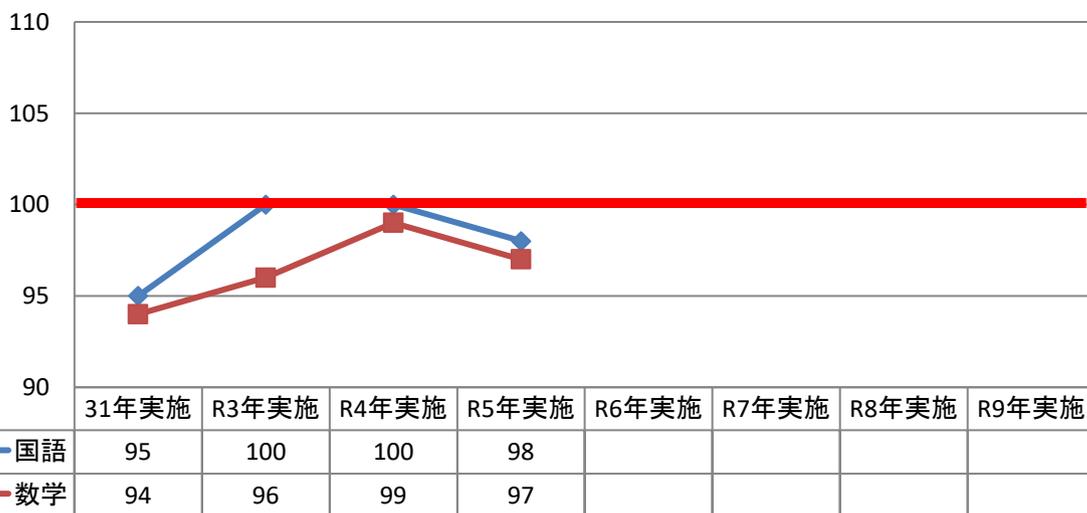
3.指標に向けての取組

- 意欲を喚起する導入と学びの変容を自覚できる視点のある振り返り活動の確実な位置付け
- 目的や具体的な内容、手立てを明確にして行う思考活動に重点をおくとともに 書く活動(「書く活動ポイント9」を活用)を位置付けた授業
- 基礎的・基本的な知識・技能を習得するための朝のモジュール学習
- 放課後習熟度別補充学習
- 学級で目標を立て、目標に向かって全員で取り組む学習コンクール

4.調査結果(全国の平均正答数を100としたときの文科省標準化得点)

	国語	数学
本校	98	97
嘉麻市	96	97
全国	100	100

推移



5.各学校における分析

【国語】

文章表現力や読解力に関する問題に課題が見えた。条件に従って文章を書いたり、読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめながら文章を整えたりすることを授業やその他書く活動を通して身に付けさせる必要がある。

【数学】

論理的思考力や問題解決能力に関する問題に課題が見えた。また、複数のデータを解析し、そこから分かることを数学的な表現を用いながら説明したり、ある事柄を証明したりする力が必要である。

6.各学校における今後の取組

【授業づくり】

- 授業のグランドデザイン(めあて～振り返り)に基づいた授業展開の実施
- 授業の思考活動の場面の充実(書く活動を位置付けた授業)
- ICTを効果的に活用した授業展開の工夫

【学力の基盤づくり】

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得するための朝のモジュール学習
- 放課後習熟度別補充学習
- 学級で目標を立て、目標に向かって全員で取り組む学習コンクールの設定

【家庭学習の充実】

- 定期考査の計画立ての充実
- 個別の家庭学習の取り組み方についての教育相談の実施
- 校区で取り組むノーメディアチャレンジ週間の実施

7.嘉麻市教育委員会としての今後の取組

◎今後の取組を具体化し推進できるように、特に次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。

◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した学習評価からの授業づくり(指導と評価の一体化)や思考を伴う「書く活動」を核とした授業づくりの推進する。そのために、指導主事を派遣して校内研修で授業観察指導を実施したり、「書く活動ポイント9」や「授業チェックリスト」を活用できるように指導助言や支援を行ったりする。

◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した「家庭学習の取組」を推進する。そのために、AIDリルを活用した個に応じた家庭学習課題の推進を図る。

また、個に応じた学習課題の提示を進める各学校の取組を交流する場を設定する。

◆学力向上検証委員会を開催し、単元テスト評価後の個に応じた習熟度別指導を取り入れた指導方法の工夫を推進する。そのために、習熟度別指導の単元づくりや個に応じた補充プリントの活用の仕方、ICTの利活用について指導する。